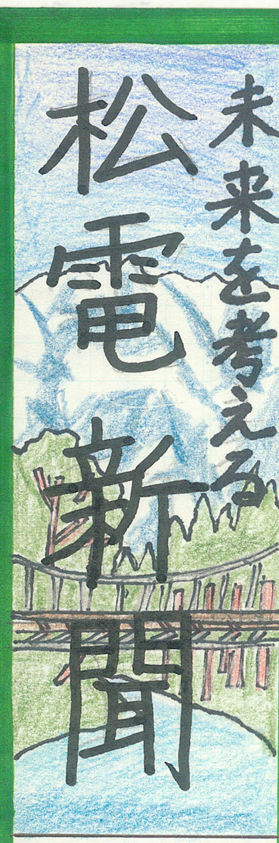
未来を考える

松電新聞



2016年9月26日
発行者 百瀬 陽

松本電鉄の新たな役割

人と町をつなぐLRT

松本市は、「健康寿命延伸都市」を目指して、誰もが生き生きとくらせるまちづくりに向けて、次世代交通政策を推進しています。

次世代交通政策では、

①自転車や公共交通の利用と歩行者を優先し、健康になること

②多くの人がまちなかを歩くことで、健康の増進を進め、渋滞の緩和や排気ガスの発生をおさえて環境をよくすること

を考えています。

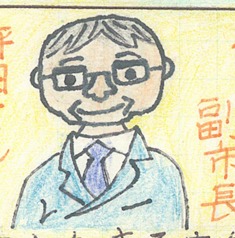
ぼくは、松本市唯一の民鉄を生かして、LRT計画を進められることができると考えてみました。

LRTへの考えを

直撃インタビュー

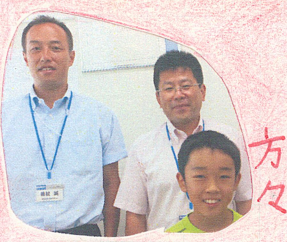
上高地線応援隊 隊長 山口さん

一番大変なのは、LRTに交通システムを変えることです。今まで車に乗っていた人がLRTに乗るようにするのは、とても大変です。それに、お金も時間もかかります。当然、今の世代の人たちだけでは無理です。これを、次の世代の人たちが、どう受け継ぐかが問題です。さらに、松本市民の了解も得なければいけません。だから、LRTを作るのは、とても大変だと思います。



松本市 副市長 坪田さん

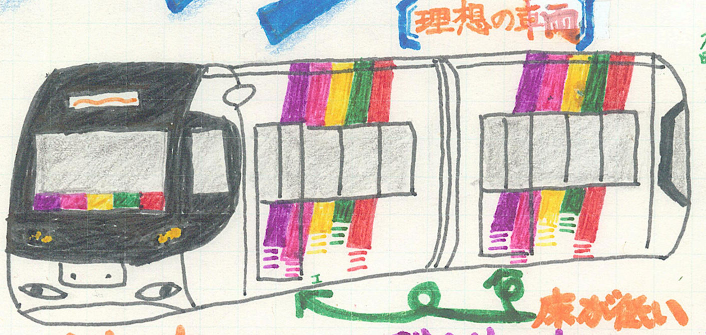
今の松本市は、車が多い「車社会」になっています。車社会だと、渋滞などで、人が自由に歩けなかったり、自転車が自由に乗れなかったりします。なので、LRTを作って、自動車に乗っていた人がLRTに乗るようにして、自動車を減らします。人も自転車も自由に歩いたり、乗ったりできる、人にやさしい社会」を作るために、LRTを作ろうとしています。



アルピコ交通の方々

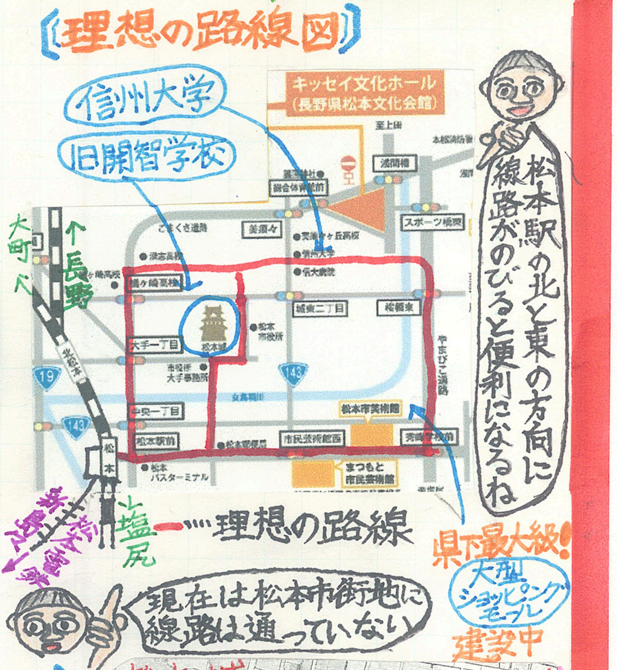
今のお金や人の規模では、松本電鉄だけではLRTを作れません。作るならば、市や国から援助を受けたり、一緒に運営したりすると思います。それに、LRTは人があまり乗れないので、ひんぱんに運行しなければいけません。しかし、車にたよらない町づくりは、いいことだと思います。公共交通を使うことは、環境にもいいことです。なので、あってもいいと思います。

ぼくが考える! 松本のLRT



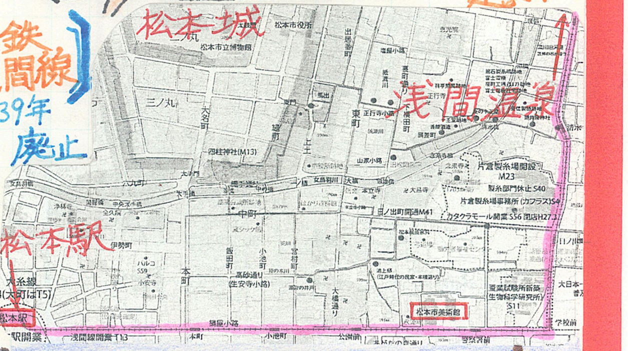
メリット
①建設費が安い
②気軽な乗り降り
③容易な乗り換え
④二酸化炭素の排出量が少ない

デメリット
①費用がかかる
②道はばをとる



ぼくは、LRTを作ったらいいと思います。松本城や大型ショッピングモール、信州大学などのたくさんの人が利用しそうな所に線路を引けば、誰もが利用できて便利!! なぜなら、床が低いからです。床が低いといいことは、小さい子からお年寄りの方、妊婦さんなと様々な人が、国宝の松本城へ行ったり、買い物へ行ったりできることです。それに、渋滞がなくなり、スムーズに移動できることからストレスを感じることがなくなります。さらに、目的地にはほぼ時間通りに行けて、環境にも優しい。アルピコ交通と協力すれば、バスとの乗り換えも簡単にできます。LRTは人に優しい乗り物だというのが理想です。しかし、この理想を実現するには、数多くの課題があることが分かりました。実際にいろいろな計画を考えてみると難しいけれど、将来的にはLRTは必ずいい交通手段になると思います。松本市の健康増進と環境を守っていくためには、LRTは欠かせない物になると思います。

松本電鉄浅間線
昭和39年廃止



おどろき!! 松電に路面電車??

昔、松本電鉄には、浅間線という路線が走っていました。松本駅前から、浅間温泉を結んでいた路面電車です。しかし、戦後に自動車が増えるにつれ、道路の邪魔になってきて、廃止になってしまいました。なので、LRTを作っても、浅間線と同じことになってしまうのではないかと心配されています。

編集後記

今回調べて、LRTを作るのは、とても大変なことだと分かりました。けれど、副市長さんなとたくさんの大人の人達が実現させようと努力していることを知りました。ぜひ実現して、様々な人に利用してもらいたいです。そして、環境にやさしく、地域に愛される鉄道として活躍してほしいです。